

第2回舟着地域協議会 会議録		公 開 ・ 非公開	
日時	令和7年5月22日（木） 午後7時00分～午後8時52分	場所	鳥原児童館 1階会議室
出席者	（委員） 荒川浩幸、河口利幸、鈴木 仁、加藤春夫、山口和夫、古田 忍 豊田幸応、山下健次、樋口義治、廣瀬秀雄、柿田文恵、飛安章智 森 勝哉、櫻井利昭、池田嘉子、清水幸代		
	（事務局）服部所長、早川参事、後藤主任		
欠席者	原 達也	傍聴者	なし
議題・議事・ 発言等	1 開会 2 説明 （１）空き家の有効活用 （２）自転車ロードレース 3 議事 （１）令和8年度地域自治区予算事業計画案の策定について （２）令和7年度地域自治区予算事業の実施について （３）舟着地区コミュニティ計画について 4 その他 （１）地域活動交付金審査会【追加募集分】勉強会 （２）次回の舟着地域協議会について 5 閉会		

1 開会

（会長）

半数以上の委員が出席しているため、新城市地域自治区条例第8条第3項の規定を満たしており、会議が成立していることを報告した。

今回の会議録署名人は鈴木仁委員と加藤春夫委員となることを報告した。

2 説明

新城中学校長より、日頃から多くの協力をしていただいていることについてお礼の言葉をいただいた。

（１）空き家の有効活用

企画調整課から空き家の有効活用の説明をした。さらに、周りに相談希望者がいた場合は、市役所に繋いでいただくよう依頼をした。

(2) 自転車ロードレース

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会と観光課から自転車ロードレースについて説明をした。

2024年度、舟着地域と八名地域の協力があり新城ロードレースができたお礼と、様々な要因により2025年度の新城ロードレースと2026年度のアジア競技大会は作手地区を選定する予定である説明をした。

3 議事

(1) 令和8年度地域自治区予算事業計画案の策定について

来年度の地域自治区予算の検討にあたって、**資料1**を利用して条件等を説明した。さらに、**資料2**を利用して11月7日の一斉建議までに実施すべきことが4段階あることを説明した。第1段階の「事業の積み上げ」の際に、過去の茶話会(**資料3-1**～**資料3-8**)や自治区予算事業一覧(**資料4**)を参考にさせていただくよう依頼し、今後の会議で重点的に議論していく旨を説明した。

また、地域活動支援員の派遣要請について、今後、地域自治区予算の検討を進めていく中で助言等が必要となったときに協議のうえ、派遣要請をしていく説明をした。

(2) 令和7年度地域自治区予算事業の実施について

舟着茶話会事業、舟着の魅力発見事業、ネットワークづくり事業の3事業について昨年度の実施例をもとに説明をした。

この3事業を実行できるよう、会長、副会長、事務局が3グループの編成案(**資料5**)を提示し、意義はなかったため、決定した。

(3) 舟着地区コミュニティ計画について

令和8年度地域自治区予算の検討に当たって、舟着地域の現状や課題、活性化について、どう感じているのか編成した3グループで議論をした。

舟着茶話会グループ

委員	資料3-8 にあるテーマ（舟着の魅力とは、人口を増やすには、地域のつながり、災害時の安否確認）を少し変更して実施できたらと思います。
----	---

舟着の魅力発見グループ

委員	昨年度作成した松山峠越えマップに関係することについて。看板の確認や補修をし、ルートの維持を実施できたらと思います。さらに、松山峠越えのスタート・ゴール地点までの移動手段と舟着山山頂の眺望の検討できたらと思います。
----	--

ネットワークづくりグループ

委員	地域内で体を動かすことができない高齢者が多いため、草刈りや側溝掃除が気になりました。 最近、田畑の鳥獣被害が酷い話を聞きます。ここを解決できたらと思います。
----	---

	ネットワークづくりとして、夏祭りや盆踊りなど舟着地区全体で実施できたらと思います。 高齢者関係で、体を動かすというテーマで何か試みができたらと思います。例えば、鳥原の遊歩道など舟着地区の散歩コースで体を動かせたらと思います。 今のネットワークづくり事業はイベントを単発で実施していますが、今後は誰でも気軽に参加できる継続的事業が行えるよう、検討していきたいです。
--	--

グループの議論を踏まえ調査票（**資料 6**）を 6 月 2 日までに投函していただくよう依頼をした。

4 その他

（１）地域活動交付金審査会【追加募集分】勉強会

追加募集では、塩沢構造改善センター運営委員会、市川環境整備の会、塩沢上組自治会の 3 件から応募があり、各団体の申請内容を事務局が提出された企画書に基づいて説明をした。

また、今回の活動交付金審査は追加募集のため、条件を一致させる理由から令和 7 年 2 月に行った審査会と同じ方法で審査をするよう依頼をした。

委員 事務局	点数のボーダーラインはありますか。 第 1 回地域協議会で配布しました各種資料の舟着地域自治区活動交付金審査基準の第 4 条審査基準に準じて合否ラインを出します。
委員 事務局	予算が余るようなら、上限額を 20 万円から金額を上げるのはいかがでしょうか。 今回の追加募集での対応は難しいですが、令和 8 年度地域活動交付金募集の際に、協議会で議論していただいて、上限額を上げることは可能です。

（２）次回の舟着地域協議会について

会長から第 3 回舟着地域協議会は、6 月 15 日（日）午前 8 時 30 分から塩沢構造改善センターで開催することを報告した。

5 閉会

会長から第 3 回舟着地域協議会の中で全体を通して意見や質問がないか確認した。

委員	地域活動交付金追加募集の件について。追加募集審査会をやることは決定事項で、それを覆すつもりはありませんが意見としてお伝えします。やはり予算が余っているのでやるのは良くないと思います。追加募集をやるのであれば、当初の募集期間を長く取るなど、工夫をすべきだと思いました。
----	--

会長から地域協議会の内容について、舟着地域自治区地域協議会に関する運営要綱第6条により、事務局で会議録を作成し、ホームページ等で公表することを報告した。

（配布資料）

次第、空き家の有効活用、自転車ロードレース、地域自治区予算について、地域自治区予算の検討イメージとスケジュール、舟着茶話会のまとめ、舟着地域自治区予算事業一覧（H26年度～令和7年度）、舟着地域協議会委員グループ分け、年間スケジュール